

# こどもと恐竜は語る、 ふたりの父とその仕事

日時：2018.8.1 | 水 |

14:00-15:00

会場：愛媛県美術館 講堂

\* 申込不要、先着 120 名



イラスト/ムナ・ホワイ

愛媛出身のイラストレーター真鍋博とショートショートの第一人者星新一、ふたりはそれぞれ絵と言葉によって、身近なようでどこにもない不思議な世界を本の中にたくさん作り出しました。ふたりを父にもつ真鍋真さんと星マリナさんが、この夏、展覧会を記念してふたりの父の共作「午後の恐竜」を中心にお話します。

## トーク・プログラム

- ☆恐竜研究者・真鍋真が解説する「午後の恐竜」
- ☆家族写真でみる星新一ストーリー「星家のアルバム」
- ☆星マリナが朗読する「午後の恐竜」
- ☆ふたりが語る日経「星新一賞」

## 落款会 & サイン会

星新一の本をミュージアムショップで購入・持参の方に星新一の落款（スタンプ）を押します。  
真鍋真さんの恐竜本を購入・持参の方にサインします。

## 参加無料



真鍋真

国立科学博物館・標本資料センター・センター長。  
恐竜など中生代の爬虫類、鳥類化石から、生物の進化を少しでも理解しようと、化石と心の中で対話する日々をおくっている。  
『せいめいのれきし』（岩波書店）など多くの恐竜に関する書籍監修を手掛ける。  
第3回日経「星新一賞」の審査員をつとめた。

撮影：黒澤義教



星マリナ

ハワイ在住。星ライブリ代表。  
星新一公式サイトを日本語と英語で運営、自身で英訳した星作品の電子書籍を出版するなど、星新一の魅力を国内外に発信している。  
今年1月、曾祖母・小金井喜美子の和歌とエッセイを編集した『泡沫の歌 森嶋外と星新一をつなぐひと』を刊行した。